

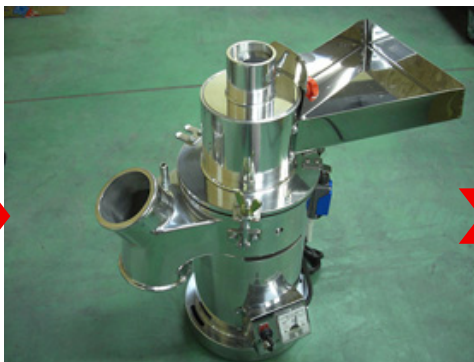
# ハンマークラッシャー

## 粉碎手順

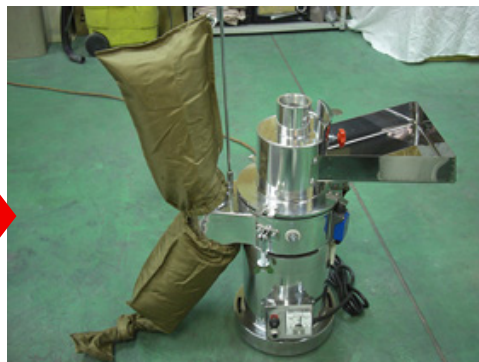
メッシュスクリーンと回収用濾布をセットします。下部濾布は先端を結んでおきます。



メッシュスクリーン装着



捕集袋を上下に装着



捕集袋を上下に装着

蓋を閉め、ボルトネジで本体部をしっかりと固定し、コンセントを差し込み、ON スイッチを入れます。

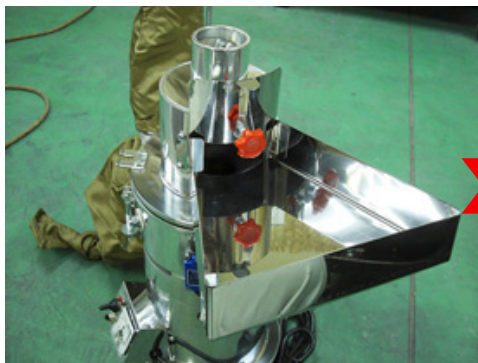


ボルトネジで固定

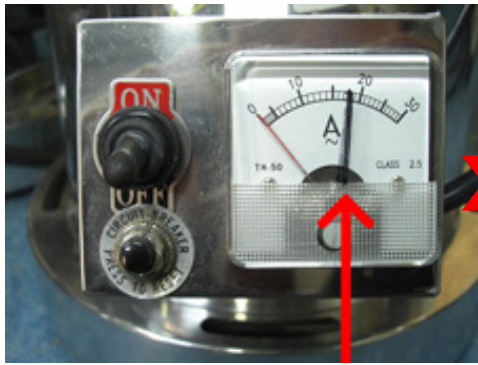


スイッチON

原料を投入します。投入口を通過する寸法まで粗粉碎お願いします。(投入口 $\phi$ 70 ~ 90mm)

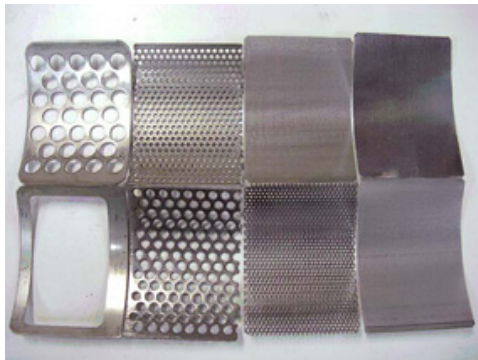


ハンマー部で原料を粉碎。メッシュスクリーンを通過した原料が回収濾布に回収されます。原料の投入量が多い場合、負荷が高くなりますので電流計にて投入ペースを調節してください。メッシュスクリーンが細かいほど、負荷は高くなります。粉碎完了後、コンセントを抜き粉碎物を取ります。

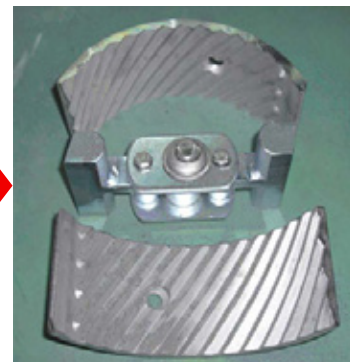


電流計にて投入ペース調整(黒線内で使用) 下部回収袋より粉碎物を取り出す

メッシュは合計7種類 (0.3・0.4・0.7・2・3・6・11mm)



ハンマー部及び内壁は取り外しが可能です。



## オプション

### インバータ（回転数可変）仕様



インバータ仕様にすることで、粉碎刃の回転数を変更することができます。標準仕様では3,450rpm（1分間に3,450回転）のみの回転数ですがインバータ仕様では0～3,450回転の調整が可能となります。低回転にすることで微粉の発生を抑え、すべてを粗めに粉碎することができる。粉碎熱の発生を抑えることができるなどのメリットがございます。

### 電磁フィーダ（原料自動供給）仕様

ハンマークラッシャー標準仕様では、粉碎原料の投入は手動となります。電磁フィーダを使用することで自動供給が可能となります。粉碎量が多いと人がついていないといけないというデメリットがありますが電磁フィーダを使用すれば楽々と粉碎を行うことが可能となります。

